

科目ナンバリング		U-LAS04 20010 SJ32									
授業科目名 <英訳>		ジェンダー論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Gender Studies				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 石岡 学			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
この授業では、受講生の報告と討論を通して、さまざまな社会事象に関わるジェンダーの構造的 問題への理解を深めることを目指す。同時に、報告や討論の技術をみがくことも目標とする。 授業の前半では課題論文に関する報告、後半では各自の興味・関心に基づくテーマに関する報告 に基づき、ディスカッションを行う。											
[到達目標]											
ジェンダーに関する幅広い知識を獲得するとともに、ジェンダーに関する諸問題について考察する 能力を養う。確かな根拠に基づき、ロジカルに自身の主張を発表し、議論を深めていくための技 術を身につける。											
[授業計画と内容]											
この授業では、ジェンダーの視点にたって社会事象をみるということがどういうことなのか、その 基本認識の形成に努める。 第1回：イントロダクション 授業のねらいを説明し、第2回以降の授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。出席者の担 当部分を割り当てる。 第2～7回：論文の輪読 ジェンダーの視点からみた学校や家庭での教育、「男らしさ」や「女らしさ」の形成、セクシュ アリティの問題などを考察した論文を精読し、ジェンダー論への理解を深める。報告者は、自らが 担当する論文の内容について報告を行い、参加者全員がそれに基づいて討論を行う。 第8～14回：各自のテーマに基づいた報告 発表担当者が自らの興味・関心に基づいたテーマに関する報告を行い、参加者全員がそれに基づ いて討論を行う。 第15回：フィードバック(方法は別途連絡する。)											
[履修要件]											
全学共通科目「ILASセミナー：ジェンダー論」(総人生の場合は「基礎演習：ジェンダー論」)、 もしくは全学共通科目「ジェンダー論」のいずれかを履修済みであることが望ましい。											
----- ジェンダー論基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓											

ジェンダー論基礎ゼミナール(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点は、発表担当時の発表内容（20点）と、授業時の討論への参加状況（30点）を総合して評価する。また、学期末には授業全体を通しての報告・議論をふまえたレポートを課し、これを評価する（50点）。

なお、3分の2以上の出席がなければ、いかなる理由があっても単位を認めない。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

担当部分の報告にあたっては、課題論文を精読し、必要に応じて他の文献も参照したうえでレジュメを作成すること。報告者以外も、必ず次回授業の課題論文を予習して授業に出席すること。

各自のテーマに関する報告の際には、事前に十分調査したうえで、報告を行うこと。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部